

アピセラピーを追究する。

山田養蜂場

YAMADA BEE FARM

養蜂業を原点とする山田養蜂場は、1948年の創業以来、ミツバチと共に生きてきました。ミツバチから学んだ自然環境の大切さを多くの人に伝え、地球と人間の未来について共に考えたいとの思いで、さまざまな社会貢献活動をおこなっています。

【タイトル】ミツバチから学んだ自然環境の大切さを、次世代へ伝えていく活動 【発表者】滝口一雄（株式会社山田養蜂場文化広報室）

植樹活動

自然環境を守る活動を行う使命があると考えています。これまでに国内外合わせて215万本以上の木を、地元の人たちと協力して植えました。



ミツバチが住める豊かな自然環境を守る



みつばち教室

ミツバチから自然環境の大切さ、命の大切さを学びます。



ミツバチの生態から自然を学ぶ



みつばち文庫

全国の小学校に図書を寄贈しており、これまでに贈った本の数は68万冊を超えています。

次世代を担う子供たちを育てる

ミツバチを通じて伝えたいテーマ
「自然環境の大切さ」
「人と人とのつながり」
「生命の大切さ」

ミツバチの一枚画コンクール

「ミツバチが教えてくれる大切なこと」を共に考えたいという思いを込めたコンクールです。



カンボジア教育支援

毎年1棟の校舎の建設・寄贈や、音楽や美術などの情操教育・衛生教育を実施しています。



ミツバチの絵本コンクール

ストーリー部門とイラスト部門の2段階形式で作品を募集。両部門の最優秀賞作品が1冊の本になります。

